

負けてたまるか!
岩手
みんなと共じ
がんばろう!
東北

ホップ
【ほっぷ】



黍
【きび】



稗
【ひえ】



粟
【あわ】



タカキビ
【たかきび】



大豆
【だいず】



三陸産野田塩
【さんりくさんのだしお】

大会
テーマ

みちのくの原風景に
生きる知恵をみる

奥南部の雑穀文化とエコツーリズム



ルリボシカミキリ
ruribosi-kamikiri

平成23年 10/21(金) 22(土) 23(日)

場所・岩手県二戸市 会場・二戸市民文化会館ほか

日本の生命の源を旅する。

全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ

主催●全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ実行委員会 [tel.0195-23-3111] | 共催●二戸市・NPO法人日本エコツーリズム協会 (JES) | 主管●二戸市宝を生かした事業実行委員会
後援(予定)●環境省・観光庁・農林水産省・文部科学省・岩手県・岩手県観光協会・社団法人日本旅行業協会・社団法人全国旅行業協会・社団法人日本観光振興協会・財団法人地域活性化センター
協賛(予定)●東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社・サッポロビール株式会社

大地を味わう、



二戸市長
小保内 敏幸

日本の原点を、ここ二戸から見つめて

二戸市は、岩手県内陸最北端に位置する人口約3万人、奥羽山脈と北上高地の間を北流する清流馬淵川に沿ってまち並みが続く、今なお自然豊かな景観を残しているまちです。

国の名勝指定を受けた日本一の大きさを誇る夫婦岩「男神岩・女神岩」がそびえ立つ馬仙峡、日本一と言われるヒメボタルの生息地折爪岳は県立自然公園に指定され、幸せを招くという精霊「座敷わらし」伝説が残る金田一温泉は、カワソウジュガイが生息する清流馬淵川沿いの緑豊かな中にあります。また、豊臣秀吉の天下統一への最後の戦いの地となった国指定史跡・九戸城跡や古代最北の仏教文化の中心地として長い歴史を刻む古刹・天台寺など、歴史を物語る宝も多く残っています。

自然や文化、産業などの地域資源である「宝」を掘り起こし、地域振興につなげようと、市民総参加による「宝を生かしたまちづくり」を進めて今年で20年になります。今後は、宝を活用して産業に結びつける「宝興し」について重点的に取り組んでいきたいと考えております。

「みちのくの原風景に生きる知恵をみる～奥南部の雑穀文化とエコツーリズム～」のテーマのもと、宝とともに生きるまちづくりと東日本大震災の被災地復興支援を、ここ岩手・二戸から全国に発信するため、「全国エコツーリズム大会in岩手にのへ」を開催します。大会を通し、地域資源を生かした持続可能な観光のあり方や、震災からの復興のためにエコツーリズムが果たす役割について考えていきたいと思っております。平成23年10月21日・22日・23日には、ぜひ二戸市にお越しください。心よりお待ちしております。



大会実行委員会
会長
小原 豊明

地域資源の魅力を伝える、エコツーリズムのチカラ

二戸市民が誇り伝えてきた自然、歴史、文化などの地域の宝を、「奥南部の雑穀文化」をテーマに全国に発信し、交流人口の拡大を図るとともに、東日本大震災の被災地復興支援を目的に、「全国エコツーリズム大会in岩手にのへ」を開催いたします。

3月に起きた東日本大震災では多方面に多大な影響を招いておりますが、一方で平泉の世界遺産登録も正式に決まり、本県の歴史観光行政の飛躍的な発展に向けて踏み出すべき年でもあります。

二戸市は、縄文時代から大勢の人たちが自然に働きかけ、独自の文化や産業を育て上げてきた歴史を持つ地域です。私たちは20年前から地域資源を宝とし、「宝を生かしたまちづくり」を進めてきました。その取り組みを全国に発信し、更には、宝を観光に繋げる機会にしていきたいと考えております。

二戸の宝の一つに「雑穀食文化」がありますが、寒冷地の二戸地方では、かつて稗や粟などの雑穀が主食でした。それは自分の生まれた土地の味や季節の味を大切にする「身土不二」の実践でもありました。

現在、二戸の若手料理人が中心となって雑穀など地元食材にこだわった創作料理を展開中ですが、今回の全国エコツーリズム大会でもその“心の味わい”を楽しんでいただきたいと思っております。



作家、探検家
環境保護活動家
C.W.ニコル

英国生まれ。17才でカナダへ渡り、海洋哺乳類の調査研究にあたる。1980年より長野県黒姫に居を定め、執筆活動を行う傍ら、自ら荒れた森を購入し生態系の復活を試みる。少しずつ買い足した黒姫の森を、故郷ウェールズの森の名前に因んで「アフンの森」と名づけ、2002年、財団法人C.W.ニコル・アフンの森財団を設立。財団では、森の再生と心の再生活動、人材の育成、国際交流などに幅広く取り組んでいる。アフンの森は、エコツーリズムを学ぶ学生のためのフィールドにもなっており、森の維持管理や環境教育を実践し、既に700名を越す学生が実習を行っている。2003年には、東京都エコツーリズム・サポート会議委員、2004年には環境省エコツーリズム推進会議委員を委嘱。2005年には、英国エリザベス女王陛下より名誉大英勲章を賜る。

二戸で味わう。



日本の生命の源を旅する。

全国エコツーリズム大会

in 岩手にのへ



スケジュール

10/21(金) | 10/22(土) | 10/23(日)

【1日目】10/21 金

開会式 [13:00~13:50]

オープニングセレモニー

地域ガイド

主催者あいさつ

— 全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ
実行委員会 会長 小原 豊明

共催者あいさつ

— 二戸市長 小保内 敏幸

— 日本エコツーリズム協会 会長 愛知 和男

基調講演 [13:50~14:50]

テーマ | 自然の恵みと森づくり

講師 — C.W.ニコル 氏

(作家、環境保護活動家、探検家)

問題提起 [15:10~16:00]

テーマ | エコツーリズムと地域づくり—実践
的課題(着地型観光の開発に向けて)

講師 — 田川 博己 氏 (株式会社ジェイティーピー
代表取締役社長・JES副会長)

パネルディスカッション [16:15~17:45]

テーマ | 千年の誇りと思いをつなぐ

奥南部の雑穀文化とエコツーリズム

モデレーター — 樋田 由美子 氏 (フリーアナウンサー)

パネリスト

— 結城 登美雄 氏 (民俗研究家)

庭 静子 氏 (種市ふるさと物産館代表)

小松 友枝 氏 (株式会社小松製菓)

加藤 誠 氏 (株式会社ジェイティーピー

地域交流ビジネス統括部長)

交流会 [18:30~20:30]

テーマ | 二戸の食~伝統と創造~

料理提供 — 若手料理人の会

おいしい雑穀料理伝え隊

【2日目】10/22 土

エコツアー [9:00~16:00]

①天台寺に続く道 御山道を歩く

— 800年続く巨木の里・足沢で
薬膳雑穀料理を食す

②小説『天を衝く』の舞台九戸城と
天ヶ塚伝説を訪ねる

— 山里のかっちゃん料理を食す

③奥州街道を歩く

— 街道随一の難所・葦ヶ坂と頂上からの
絶景と南部名物ひつつみを食す

④北東北 ブナの原生林が広がる
稲庭高原を杣人と歩く

— 岳の恵みを食す

⑤浄門の里で 晩秋を楽しむ庭じまい
— どぶろく文化を浄法寺漆器で食す

⑥先人たちのたくましい足跡
野田塩ペコの道を訪ねる!
(被災地応援)

夜なべ談義 [18:30~20:00]

夕食を囲み参加者と現地ガイドの交流
ツアー体験報告の集約

【3日目】10/23 日

エコツアー体験報告 [9:30~11:00]

コーディネーター

— 海津 ゆりえ 氏 (文教大学准教授・JES理事)

報告者 — 各コース座長

総括(緊急特別)セッション
[11:15~12:00]

テーマ1 | 食を軸とする奥南部のエコツーリ
ズムの将来(仮題)

テーマ2 | 震災から半年。エコツーリズムは何
ができるのか(仮題)

閉会式 [12:00~12:20]

大会宣言 — 全国エコツーリズム大会 in 岩手
にのへ実行委員会会長

解散

シャトルバスでトリコロールフェスタ会場まで
移動

オプションツアー [13:30~16:00]

日本一の夫婦岩を訪ねて

内容 | 国の名勝男神岩・女神岩トレッキング、
トリコロールフェスタで旧南部藩に伝わる盆
踊りなにとやらの鑑賞及び北東北グルメを
堪能

会場 | 二戸市石切所地内

ガイド | 二戸市観光協会



「負けてたまるか!岩手」は、二戸市復興のスローガンです。

負けてたまるか!
岩手

岩手県の岩の字にかたどった星は、4月に開催された第4回世界ミックスダブルス選手権に

日本代表として出場したチーム岩手(苫米地賢司、苫米地美智子=二戸市)の頑張り(白星)が、
被災した岩手県の希望の一番星となるようにと願いが込められています。

奥南部に日本の原風景が広がる

著書「遠野物語」で知られる日本民俗学の祖・柳田國男は、その著作「豆の葉と太陽」において、
二戸地方の風景を「其中でも殊に忘れがたい一つは、奥南部の大豆畑の風光」と紹介しています。



日本の生命の源を旅する。
全国エコツアーリズム大会

in 岩手にのへ



エコツアー

10/22(土)9:00~16:00

1 足沢地区

歩く距離 | 約4km

ガイド | ぎばって足沢70の会
天台寺ボランティアガイドの会

天台寺に続く道 御山道を歩く

—800年続く巨木の里・足沢で薬膳雑穀料理を食す

定員 40名

瀬戸内寂聴師が名誉住職を務める東北最古の古刹・天台寺を訪ねるとともに、寺まで続く古道を歩きます。800年続く巨木の里・足沢地区では、日本でも珍しいモチ系のひえが作られており、このもちひえ料理を始めとする二戸地方伝承の雑穀料理のバイキングが堪能できます。

料金 ¥16,000~(2泊4食付) 宿泊場所 二戸パークホテル



2 坂本地区

歩く距離 | 約3km

ガイド | えのみの会
九戸城ボランティアガイドの会

小説『天を衝く』の舞台九戸城と 天ヶ塚伝説を訪ねる—山里のかっちゃん料理を食す

定員 40名

戦国武将・九戸政実にまつわる勇壮な歴史の舞台を訪ね、日本最大級のヒメボタル生息地の折爪岳、深い沢に抱かれた隠れ里・天ヶ塚の生活が体感できます。天ヶ塚では、南部曲家や古民具の見学、南部地方に伝わるてんぼやほど焼き、栗かっちゃんが味わえます。

料金 ¥16,000~(2泊4食付) 宿泊場所 二戸シティホテル



3 金田一地区

歩く距離 | 約8km

ガイド | よりゃんせ金田一

奥州街道を歩く—街道随一の難所・蓑ヶ坂と 頂上からの絶景と南部名物ひつつみを食す

定員 40名

奥州街道随一の難所・蓑ヶ坂を越えると、眼下に一面のりんご畑が見渡せる駕籠立場があります。絶景とともに郷土の名物料理ひつつみが味わえます。郷土菓子のてんぼと昔ながらの飴づくり、自生するヤマブドウのつるを使ったストラップづくりが体験できます。

料金 ¥16,000~(2泊4食付) 宿泊場所 旅館おぼない



4 杉沢太田地区

歩く距離 | 約4.5km

ガイド | 岩誦坊クラブ

北東北 ブナの原生林が広がる 稲庭高原を仙人と歩く—岳の恵みを食す

定員 40名

稲庭岳山頂の展望台からは360°の大パノラマで八甲田連峰や八幡平の山々が見渡せ、麓では岳中腹の湧水で味わう新そばや短角和牛の丸焼き、天鶏南部かしわ汁をワイルドに楽しめます。東北最古の古刹・天台寺を参拝し、マイきのこが採れるほど木づくりが体験できます。

料金 ¥16,000~(2泊4食付) 宿泊場所 天台の湯 天台荘



5 門崎地区

歩く距離 | 約1km

ガイド | 浄門の里づくり協議会
天台寺ボランティアガイドの会

浄門の里で 晩秋を楽しむ庭じまい —どぶろく文化を浄法寺漆器で食す

定員 30名

門崎地区は、四季を通じて交流している地区で、水車挽き、蔵めぐり、風呂焚きなど里山の食と住を体験できます。一年間の農作業の無事を祝う庭じまいでは、生漆生産量日本一の地で作られた浄法寺塗で郷土料理を味わい、どぶろく文化を今に伝える酒濾舞が鑑賞できます。

料金 ¥16,000~(2泊4食付) 宿泊場所 まべち荘



6 久慈市
野田村等

歩く距離 | 約5km

ガイド | 久慈広域観光協議会

先人たちのたくましい足跡 野田塩ベコの道を訪ねる! (被災地応援)

定員 40名

野田村の海岸では古くから海水を煮詰めて塩が作られました。その塩を運んだ牛「野田ベコ」が歩いた道は、牛が通るだけの狭く険しい山道ながらも、海と山を結ぶ、切っても切れない血潮の道です。この道歩き、食事は塩むすび、潮汁、魚塩焼きなど三陸の海の恵みが堪能できます。

料金 ¥16,000~(2泊4食付) 宿泊場所 きたぐに旅館 仙養館





日本の生命の源を旅する。
全国エコツーリズム大会

in 岩手にのへ



参加・募集要項

全国からのご応募をお待ちしております

参加費

10月21日のシンポジウムに参加いただく場合には参加費が必要となります。

一般●6,000円/人 | JES会員●5,000円/人 | 学生●3,000円/人

(シンポジウム資料代、交流会費を含みます。宿泊費用は別途頂戴いたします。)

交流会のみの参加は3,000円。参加費のうち1,000円は被災地の支援金に充てられます。

エコツアー参加費

10月22日からのエコツアーに参加いただくには参加費が必要となります。

別紙エコツアープランよりお選びください。

1. 天台寺に続く道 御山道を歩く●16,000円～(宿泊場所/二戸パークホテル・2泊4食付)
2. 小説『天を衝く』の舞台九戸城と天ヶ塚伝説を訪ねる●16,000円～(宿泊場所/二戸シティホテル・2泊4食付)
3. 奥州街道を歩く●16,000円～(宿泊場所/旅館おぼない・2泊4食付)
4. 北東北 ブナの原生林が広がる稲庭高原を杣人と歩く●16,000円～(宿泊場所/天台の湯 天台荘・2泊4食付)
5. 浄門の里で晩秋を楽しむ庭じまい●16,000円～(宿泊場所/まべち荘・2泊4食付)
6. 先人たちのたくましい足跡 野田塩ベコの道を訪ねる!●16,000円～(宿泊場所/きたぐに旅館 仙養館・2泊4食付)
※税、サービス料込み | ※学生は上記ツアーに12,000円～で参加できます

お申込み用法

FAXでお申込みの場合

別紙の申込書にご記入のうえ、JTB東北盛岡支店までお申し込みください。

申込先●JTB東北盛岡支店 | 岩手県盛岡市内丸2-5 〒020-8525

tel.019-654-7474 fax.019-623-4425

ホームページからお申込みの場合

全国エコツーリズム大会in岩手にのへホームページにリンクされる宿泊申込からお申し込みください。

<http://ninohe-takara.s5.pf-x.net/>

お問い合わせ

全国エコツーリズム大会in岩手にのへ実行委員会事務局(二戸市役所内)

tel.0195-23-3111

申込み期限

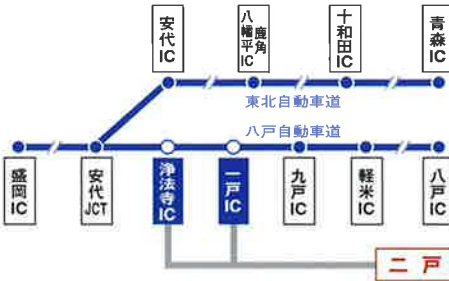
平成23年10月7日(金)

※お申込み受付後、受付確認及び参加費の入金方法等についてご案内いたします。

鉄道

青森	東北新幹線 約24分 東北自動車道他 約2時間10分	二戸
八戸	東北新幹線 約10分 東北自動車道他 約25分 国道4号 約他45分	
鹿角	東北自動車道他 約45分 国道282号他 約1時間	
大館	東北自動車道他 約1時間15分 国道282号他 約1時間30分	
久慈	JRバス 約1時間 東北新幹線 約20分	
盛岡	JRバス 約2時間	
仙台	東北新幹線 約1時間10分	
東京	東北新幹線 約3時間	

高速自動車道



八戸自動車道浄法寺インター下車、県道6号線北上15分～国道4号線北上約5分(もしくは、八戸自動車道一戸インター下車、国道4号線北上約10分)で市街地に入ります。

飛行機

大阪	約1時間20分	三沢空港	国道4号他 約1時間30分	二戸
	約1時間35分	大館能代空港	国道7号他 約2時間	
	約1時間20分	いわて花巻空港	東北自動車道 約1時間30分	



お問い合わせ

全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ
実行委員会事務局(二戸市地域振興課内)

〒028-6192 岩手県二戸市福岡字川又47 tel.0195-23-3111(代)

<http://ninohe-takara.s5.pf-x.net/>

E-mail.eco-takara@city.ninohe.iwate.jp